



2026 年 10 月 6 日

各 位

会社名 株式会社アクセルスペースホールディングス
代表者名 代表取締役 中村 友哉
(コード番号：402A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 折原 大吾
(TEL. 03-6704-8708)

(開示事項の経過) AxelGlobe 事業の小型衛星「GRUS-3」の不具合に関する 状況のご報告及び「GRUS-3 不具合検証アドバイザーボード」の設置について

当社は、2026 年 9 月 29 日付「AxelGlobe 事業の小型衛星「GRUS-3」の不具合に関するお知らせ」において、連結子会社である株式会社アクセルスペース（以下、「アクセルスペース」という。）が同年 7 月 7 日（日本時間）に打上げた小型衛星「GRUS-3」7 機のうち、4 機において、高速通信系統に不具合が確認されたことを受け、高速通信系統の復旧及び予定していた商用運用が困難であるという結論が報告されたことを公表しておりました。その後も原因究明を進めておりましたが、高速通信系統の不具合は恒久故障であり、不具合が確認された 4 機については予定していた高速通信系統での画像データのダウンロードによる商用運用は困難であると判断したため、本日開催の取締役会において、特別損失の計上を決議いたしました。加えて、推定した不具合の原因や今後打上げ予定の衛星に適用する対策の妥当性について客観的な評価を受けることを目的に、外部の専門家を招いた「GRUS-3 不具合検証アドバイザーボード」（以下、「本アドバイザーボード」という。）の設置を決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 「GRUS-3」の不具合に関するご報告

(不具合公表までの経緯)

アクセルスペースは、7 月 7 日に打上げた「GRUS-3」7 機に対し、7 月 10 日に軌道上での健全性を確認する「クリティカル運用」を完了しました。その後、衛星の姿勢制御や機器の動作確認、システム総合試験などを実施し、予定していた画像データサービスを提供できる状態へと調整する初期運用を開始いたしました。人工衛星の運用では、宇宙環境等の影響や適切でない設定などにより一時的な誤動作が発生することがあります。その際には、機器の再起動や機器の再設定、場合によってはソフトウェアの再プログラミングなど、正常な状態への復帰を図るための復旧運用が行われます。今回の高速通信系統の不具合については、それらの初期運用の一環として正常動作に向けた確認・復旧作業と並行して不具合に関する調査を行っておりましたが、一時的な誤動作ではなく、高速通信系統の恒久故障が疑われ、復旧及び予定していた商用運用が困難であるという結論が報告されたため、9 月 29 日の公表に至りました。

(不具合の原因に対するアクセルスペースの推定)

本不具合は、撮影した画像データのダウンロードに用いる高速通信系統内の電力増幅器の損傷が発生原因であると推定しております。衛星には、衛星の電圧、温度、位置や姿勢、搭載機器の動作状況（以下、「テレメトリデータ」という。）など、衛星の健康状態を地上で確認し、地上からの指令コマンドを衛星で受信する管制運用のための比較的数据量の小さい情報を送受信する通信系統（以

下、「低速通信系統」という。）と、撮影した大容量の画像等のミッションデータを地上局へ高速で送信するための通信系統（以下、「高速通信系統」という。）が搭載されています。高速通信系統では、宇宙から地上までの長距離で高速なデータ通信を行う必要があるため、低速通信系統と比較して、より高い周波数・大きな電力のパワーアンプ（電力増幅器）を用いて高周波信号の電力を増幅した上で、アンテナを通じて地上局へ送信します。不具合が確認された4機のテレメトリデータの分析と地上での検証試験により、今回発生した通信異常は、電力増幅器からの放熱が不十分であったことにより、内部のアンプ素子（電力増幅器内で電力を増幅する役割を持つ電子部品）が異常な高温となり損傷に至ったものと推定しております。

（今後の運用）

高速通信系統については、不具合の生じた電力増幅器で使用しているアンプ素子は、アクセルスペースの運用する人工衛星「GRUS-1」にも搭載されており、これまで正常に稼働している実績があることから、「GRUS-3」に搭載した高速通信系統に加えた設計変更における放熱設計に課題があった可能性が高いと考えております。不具合が発生していない3機に関しても同様の設計となっていますが、電力増幅器の消費電力を抑制するとともに、通信時間を短縮することで、宇宙空間の真空での電力増幅器の温度の上昇を防ぎながら、商用運用で実施するデータのダウンロードに取り組んでまいります。これらの運用を1機ごとに慎重に行っていく方針としたことから、不具合が発生していない3機についても、目指していた2026年中の商用運用開始予定を2ヶ月延期し、2027年2月からの商用運用開始を目標とすることと致しました。

また、不具合が確認された4機に関しましては、高速通信系統以外の機器は正常であることから、直ちに軌道離脱をするものではなく、低速通信系統により取得可能な画像の提供可能性に関する検討や衛星から得られるテレメトリデータの活用などによる商用活用の実施などの検討を行ってまいります。

これらの問題を受けて不具合の発生した高速通信系統については、今後開発する衛星における改修を行ってまいります。

小型衛星「GRUS-3」は、低軌道上において5年間は地球観測に使用できるよう設計されております。今回の事象を踏まえ、アクセルスペースの開発におけるプロセスを見直し、今後打上げ予定の衛星の品質及び信頼性の向上のため、現時点における最善の策を模索しつつ、小型光学衛星コンステレーションの構築を継続してまいります。

2. 本アドバイザリーボード設置の目的と背景

当社は、「GRUS-3」7機のうち4機で発生した高速通信系統の不具合、及び不具合が発生していない3機の衛星による商用運用開始のスケジュール延期という事実を重く受け止め、アクセルスペースが行う原因分析、対策等について独立した第三者の視点から意見を求める必要があるとの判断から、本アドバイザリーボードの設置を行うこととしました。本アドバイザリーボードの主な目的は以下のとおりです。

- ・ 第三者の視点から、「GRUS-3」4機の高速通信系統の不具合に関する社内の技術要因分析及び今後打上げ予定の衛星に適用する対策の妥当性を検証し、関連する技術的・システムの要因について追加の知見を得ること
- ・ 第三者の視点から、今回のアクセルスペースの衛星プロジェクト推進体制について意見を求め、透明性をもって開示することで、株主・顧客・政府をはじめとする、すべてのステークホルダーとの信頼関係を維持すること

3. 本アドバイザリーボードの進め方

アクセルスペースは、今回の不具合に関する技術情報の整理や原因分析、今後の対策等に関する報告書を取りまとめ、本アドバイザリーボードに提示します。本アドバイザリーボードは報告書に基づき第三者の視点から提言を行い、アクセルスペースはその提言を受け、必要に応じて追加の調査・試験及び今後の対策のアップデートを実施します。最終報告までの期間は、本アドバイザリーボードの構成委員が確定後、おおよそ1.5ヶ月を予定しています。

なお、本アドバイザリーボードの構成委員は、確定し次第、速やかにお知らせいたします。

4. 業績に対する影響について

当社は、不具合が確認された4機については予定していた画像データの取得による商用運用は困難であると判断いたしましたため、本日開催の取締役会において、特別損失の計上を決議いたしました。また、不具合が発生していない3機に関しましても、商用運用開始のスケジュールを延期することから、通期業績予想の修正を行っております。これらの詳細は、本日公表の「2027年5月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」において開示しております。

【ご参考】AxelGlobe 事業の小型衛星「GRUS-3」の不具合に関して株主の皆さまより寄せられたご質問及び回答内容について

2026年9月29日付「AxelGlobe事業の小型衛星「GRUS-3」の不具合に関するお知らせ」の公表後、本件について、株主・投資家の皆さまより多数のお問い合わせを頂いておりますため、10月6日時点における主なご質問(本日の開示に対する想定質問を含みます)とそこへのご回答について開示させていただきます。

今後も、多くご質問を頂戴した事項については適宜、同様に開示をさせていただく予定です。また、ご質問の時点と回答内容に若干の差異が生じる場合がございますが、情報発信の透明性向上及びフェア・ディスクロージャーの観点から、今後も継続的な情報公開を行ってまいります。

(ご質問及び回答内容)

Q. 不具合が確認された4機について、商用運用は断念するということでしょうか。通常通りに復旧する見込みはないのでしょうか。

A. 予定していた画像データの提供については断念いたしました。ただし、高速通信系統以外の機器状態は正常であることから、直ちに軌道離脱をするものではなく、低速通信系統により取得可能な画像の提供可能性に関する検討や衛星から得られるテレメトリデータの活用などによる商用活用の実施などの検討を行ってまいります。

Q. 不具合が発生していない3機について、従来どおり2026年中の商用運用開始を目指すのでしょうか。

A. 不具合が発生していない3機に関しても同様の機構を搭載しておりますが、電力増幅器の消費電力を抑制するとともに、通信時間を短縮することで、宇宙空間の真空での電力増幅器の温度の上昇を防ぎながら、商用運用で実施するデータのダウンロードに取り組んでまいります。これらの運用を1機ごとに慎重に行っていく方針としたことから、不具合が発生していない3機についても、目指していた2026年中の商用運用開始予定を2ヶ月延期し、2027年2月からの商用運用開始を目標とすることと致しました。

Q. 低速通信系統の電力増幅器にも不具合が発生する可能性がありますか。

A. 低速通信系統には、高速通信系統とは異なる電力増幅器が使用されております。現時点において、低速通信系統では同様の事象は確認されておられません。

Q. 本日「(開示事項の経過)Pale Blue社との軌道上実証サービス提供契約に関する協議開始のお知らせ」が公表されていますが、「GRUS-3」の不具合が関連しているのでしょうか。

A. 「GRUS-3」の不具合と本件は関連はございません。アクセルスペースが開発していた本プロジェクトに供する衛星固有の技術上の課題に鑑み、Pale Blue社において本プロジェクトの事業性を確保することが困難であると、Pale Blue社が判断したことによるものです。

Q. 防衛省の「衛星コンステレーションの整備・運営等事業」を始め、受注済みのプロジェクトへの影響を教えてください。

A. AxelGlobe事業では今期(2027年5月期)の売上高予想を約60億円から約42億円に修正いたしました。詳細は本日公表の「2027年5月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。4機に不具合が発生したことによるAxelGlobe事業に対する影響を抑えるべく、あらゆる手段を検討しております。開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。なお、防衛省案件を含む個別案件への影響の程度については回答を差し控えさせていただきます。

Q. 当初GRUS-3の7機で想定していた撮影能力・撮影頻度・画像データ提供能力等のサービス水準をどの程度維持できる見込みでしょうか。

A. 現時点では精査中のため、ご回答できかねますが、撮影キャパシティには機数に応じた影響が出るものと考えております。

Q. 今後打上げる予定の高分解能衛星などにも同様の不具合が発生する可能性はあるのでしょうか。

A. 今回の不具合の原因を踏まえ、今後打上げ予定の衛星については、不具合が発生した高速通信系統の放熱設計を含めた改修を行い、同様の不具合の発生防止を図ってまいります。

加えて、本日設置を決定した「GRUS-3 不具合検証アドバイザーボード」において、当社が推定した不具合の原因及び今後打上げ予定の衛星に適用する対策の妥当性について、客観的な評価を受けることとしております。これらの対策により、今後打上げ予定の衛星に関しましては、品質及び信頼性の向上に努めてまいります。

Q. 今回の不具合は保険でカバーされるのでしょうか。

A. 「GRUS-3」において加入していた保険では、今回の不具合はカバーされません。

Q. 2031 年 5 月期末までに 30 機程度のコンステレーション運用を目指す計画に影響はあるのでしょうか。

A. 現時点では計画の変更の予定はありません。開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

Q. MOU や LOI など、締結済みの提携関係に影響は出ているのでしょうか。

A. AxelGlobe 事業で MOU もしくは LOI を締結していた顧客への影響は現時点では発生しておりません。

【注意事項】

当社では決算情報の漏洩防止及び情報の公平性確保を目的として、各四半期決算期末日の翌日から決算発表日までの期間を「沈黙期間」と定めております。この期間中は、決算に関するご質問の回答やコメントを控えさせていただきますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

ただし、沈黙期間中であっても、投資判断に影響を及ぼす重要事象が発生または決定された場合には、適時開示規則に則り、公平かつ迅速に情報開示を行ってまいります。

また、当社ウェブサイト等を通じていただいたご質問には順次ご回答しておりますが、以下に該当する投稿につきましては、誠に恐縮ながら回答を差し控えさせていただきます。あらかじめご了承ください。

・非公開情報に関するお問い合わせ

例：足元の業績動向、将来の開示内容・開示予定、個別の商談状況、展示会の出展予定、公募案件への応募状況、各衛星の稼働状況、公表前の人工衛星及びロケットの打上げ日時、衛星の開発・製造状況など

- ・金融商品取引法 第 166 条「重要事実」に該当する可能性のあるお問い合わせ
- ・株価動向等株式市場の値動に関するお問い合わせ
- ・誹謗中傷が含まれるお問い合わせ
- ・ご意見やご感想

当社からご提供する回答内容につきましては、当社の許可なく、その一部または全部を転用・二次利用し、お問い合わせいただいたご本人以外に開示することは、固くお断りいたします。

以 上